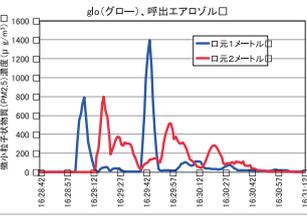
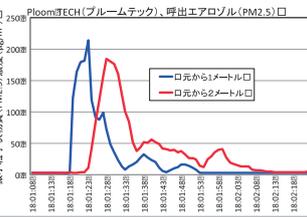


日本で製造タバコとして販売されている加熱式タバコ 2018年1月15日更新			
本体名	iQOS → IQOS(アイコス)	glo(グロー)	Ploom TECH(プルームテック)
価格(税込み)	9,980円 → 10,980円	8,000円	4,000円
メーカー	フィリップモリス	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ	日本たばこ産業(JT)
ブランド	マールポロ	ケント	メビウス(旧名、マイルドセブン)
1箱の価格	460円	420円	460円
内容物	ヒートスティック20本入り	ネオスティック20本入り	カプセル5個(紙巻きタバコ20本相当)とカートリッジ1本
葉タバコの重量	15.7グラム	9.8グラム	2.8グラム
タバコ税	41.8%	28.6%	7.5%
消費税との合計	49.2%	36.0%	14.9%
(紙巻きタバコのタバコ税:55.7%、消費税と合計63.1%)			
基本構造	葉タバコを直接加熱し、ニコチン等を含むエアロゾルを吸引 (ニコチンの沸点は247度)		低温で霧化する有機溶剤を加熱し、エアロゾルを発生、タバコ粉末を通過させ、ニコチン等を吸引
加熱温度	スティックを加熱板に差し込み、300~350°Cに加熱	スティックを本体に挿入し、周囲から240°Cに加熱	約40°C
販売時期	2014年11月:名古屋市で販売 2015年 9月:12都道府県で販売 2016年 4月:全国で販売 2017年 3月までに300万台販売	2016年12月:仙台市で販売 2017年 7月:東京都、大阪府、宮城県で販売 2017年10月:全国販売	2016年3月:福岡市で販売 2017年7月:東京都で販売 2018年2月:札幌、仙台、横浜、名古屋、大阪、広島で販売 2018年6月:全国販売の予定
使用状況			
呼出されるエアロゾル(平面レーザーによる可視化)			
呼出される微小粒子状物質(PM2.5)(Sidepak AM510により測定、質量濃度換算係数0.295を用いた)			
<p>結論:加熱式タバコを使用した際に解剖学的死腔までしか吸引されなかったエアロゾルが次の呼気で呼出されることが平面レーザーにより可視化された。国立保健医療科学院の調査により、加熱式タバコからはニコチン、発がん性物質(タバコ特異的ニトロサミン、多環芳香族炭化水素類、ホルムアルデヒドなど)が含まれていることが報告されている。加熱式タバコを屋内で使用した場合、これらの物質により屋内の空気を汚染することから、少なくとも屋内での使用は禁止するべきである。また、加熱式タバコを使用する者には、これらの情報を伝えることで禁煙企図を高め、禁煙外来の受診を勧奨するカウンセリングを行うと良い。</p> <p>関連資料:            大和 浩. 加熱式タバコ禁止・制限の科学的根拠は? 日本医事新報. No. 4859, 59-61. 2017.6.10.            K Bekki, et al. Comparison of chemicals in mainstream smoke in heat-not-burn tobacco and combustion cigarettes. J UOEH. 39(3), 201-207. 2017.            問い合わせ先: 日本禁煙推進医師歯科医師連盟 (<a href="http://www.nosmoke-med.org/">http://www.nosmoke-med.org/</a>)            副会長: 大和 浩 (<a href="mailto:yamato@med.uoeh-u.ac.jp">yamato@med.uoeh-u.ac.jp</a>)</p> <p>本来、各エアロゾルの濃度はフィルターを用いた濃度測定結果とデジタル粉じん計(TSI社製、Sidepak AM510)の結果から相関係数を求めて換算する必要がありますが、新型タバコには粒子状物質(タール)の含有量が少ないため換算係数の算出が困難です。紙巻きタバコの煙を測定する際と同じ条件での換算係数295を用いてグラフ化しました。            Lee K, et al. Differential impacts of smoke-free laws on indoor air quality. J Environ Health. 70(8), 24-30, 2008.</p>			